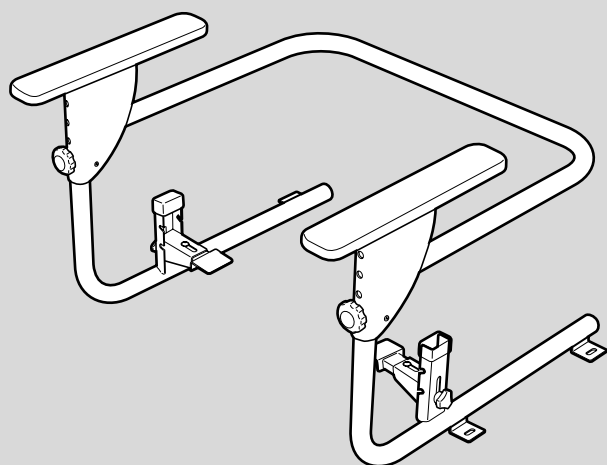
大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

サニタリエース両用専用フレーム 取扱説明書

このたびはサニタリエース両用専用フレームをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

もくじ

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。

肘掛けの上に乗ったりぶら下がったりしないこと
転落や転倒、けがの原因になります。

⚠注意

各部のボルト及びアンカーボルト・ナットがゆるんでいないか、定期的に点検すること
ゆるみがある場合には、使用を中止し、ボルト・ナットをゆるみがないよう増締めすること
ゆるんだまま使用すると、不安定になり転倒やけがの原因になります。

使用者が用便などの際、自分自身の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと

各部の調節（高さ調節など）については販売店かケアマネージャーなど専門家に相談すること

高さ調節後は必ず肘掛け高さ調節ノブが締め付けられているか確認すること
けがの原因になります。

取り付ける前に、下地の強度を確認すること
使用中にアンカーボルトが抜けて、転倒やけがの原因になります。

直接水をかけて洗わないこと
塗装が変色したり錆の原因になります。

子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

体重が100kg以上の方は使用しないこと
破損する恐れがあります。

立ち座りのとき片側の肘掛けにのみ全体重をかけないこと
転倒したり、けがの原因になります。

直射日光を避けて、室内でのみ使用すること
塗装の変色やひび割れの原因になります。

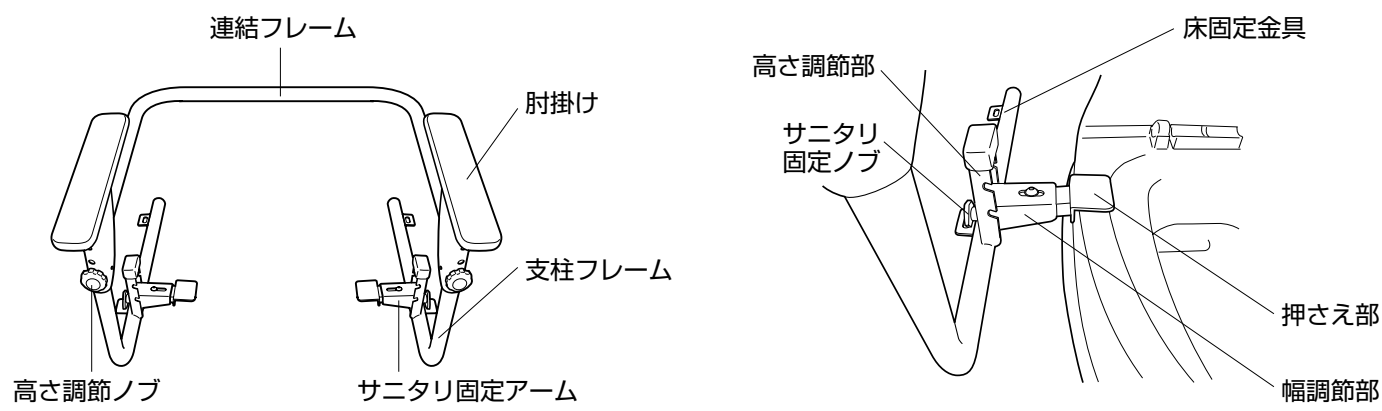
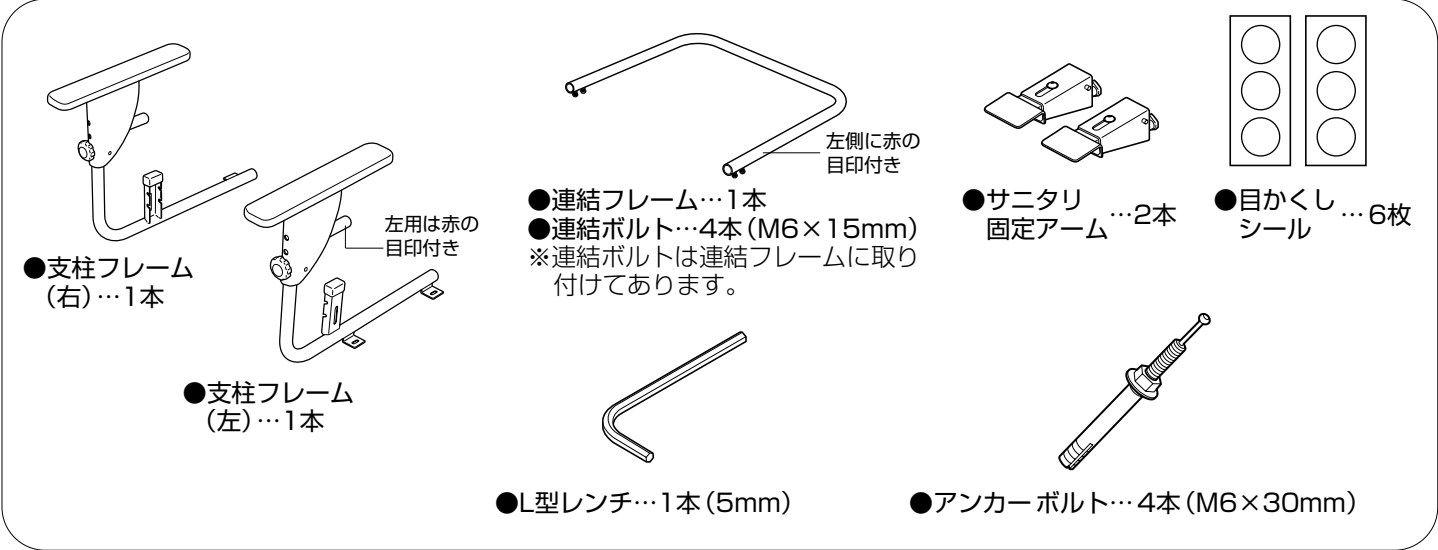
落としたり強い衝撃を与えないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

熱器具の近くや湿気の多い場所には設置しないこと
塗装の変色やひび割れの原因になります。

当社サニタリエースOD両用式およびサニタリエースHG両用式以外の他社製品では使用しないこと
適正な固定ができず、ガタツキや破損の原因になります。

木の床には取り付けないこと
アンカーボルトが抜け、けがの原因になります。

各部のなまえと仕様

■各部のなまえ

■部品・付属品

■仕様

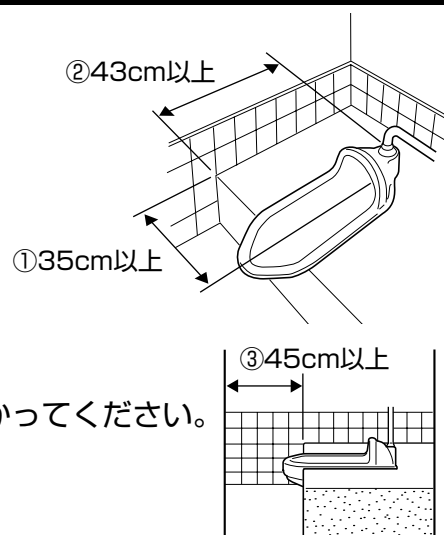
	部品名	材質
構成部材	支柱フレーム・連結フレーム	スチール／エポキシ系粉体塗装（ホワイト）
	サニタリ固定アーム（幅調節部・押さえ部） 床固定金具	ステンレスSUS304／エポキシ系粉体塗装（ホワイト）
	肘掛け	天然木（タモ材）／ウレタン塗装
	高さ調節ノブ	ステンレスSUS304／PP
	連結ボルト	ステンレスSUS304
	アンカーボルト	ステンレスSUS304
サ イ ズ	幅67×奥行65×高さ38〜47cm 肘掛け高さ（床から）38・41・44・47cm（4段階）	
重　　量	約6.5kg	

特長

- 和式便器を腰かけ式に改良できるサニタリエースが、さらに立ち座り動作が楽に行えるようになります。
- 肘掛けの高さは床から38・41・44・47cmの4段階に左右別々に調節できます。
- 肘掛けは天然木を使用。立ち上がりの補助として、座った姿勢を支える肘掛けとして、使いやすい形状です。
- サニタリエース両用式（OD・HG）の本体を簡単に固定することができます。サニタリエース両用式の本体をしっかり固定できるので、本体がズレることなく、安心して立ち座りが行えます。また、サニタリエース本体は着脱が容易で掃除しやすい構造です。

取り付けの前に

取り付け前に下記事項を確認してください

①便器の中心から壁までの距離が35cm以上であること。
②床の前方から排水バルブまでの距離が43cm以上であること。
③床の前方から後ろの壁までの距離が45cm以上であること。
④床が丈夫なコンクリートで、アンカーボルトが固定できること。

1 施工される業者の方へ

施工される前に、この取扱説明書をよく読んでから施工に取りかかってください。

2 必要な工具

・電気ドリル（ハンマードリル）　・コンクリート用ドリル（φ6.5mm）
・スパナ（二面幅10mm）

組み立てかた

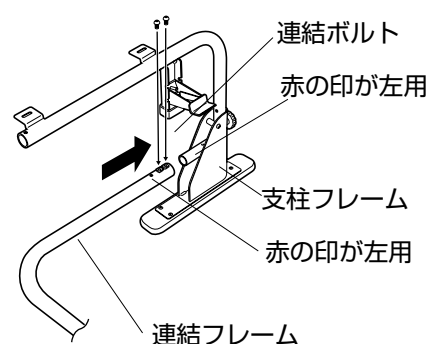
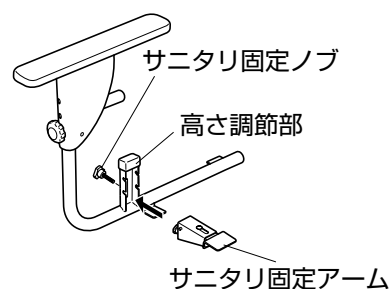
1 サニタリ固定アームを取り付ける

サニタリ固定アームについているサニタリ固定ノブを外し、
支柱フレームの高さ調節部に取り付けて仮止めする。

2 フレームを組み立てる

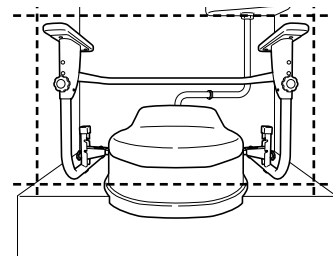
支柱フレームの連結部に連結フレームを差し込みます。

※左用は連結部（支柱フレーム・連結フレーム）の赤い目印を
合わせてください。

連結ボルトをL型レンチで回し、仮固定します。

注意

支柱フレームは、左右異なります。左の支柱には赤の目印が付いているので、向きに注意して組み立てること
支柱フレームは、サニタリ固定アームが内側に向くように組み立ててください。

3 連結ボルトを増し締めする

フレームのゆがみが無いことを確認し、連結ボルトを締め付けます。

4 固定する位置を決める

サニタリエース両用式を取り付けた状態で、下記の図を参考にフレーム取付位置を決め、床に床固定金具の穴位置の印を付けます。

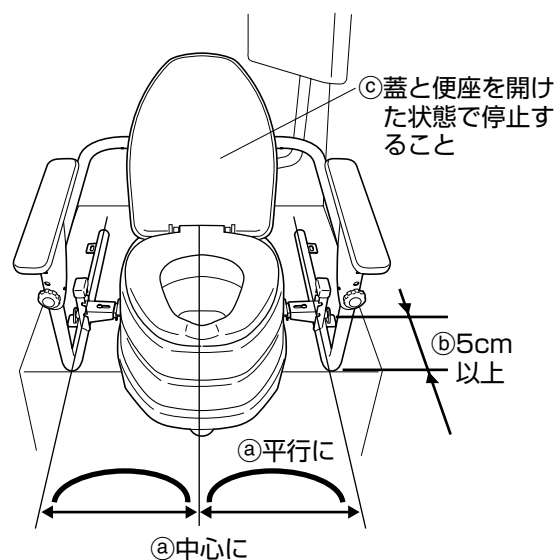
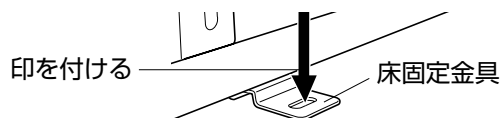
●位置決めのときの注意事項

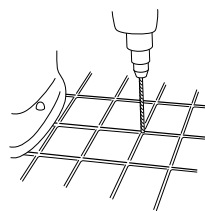
ⓐサニタリエースの蓋と便座を開けて、フレームの中心が、出来るだけトイレの中心になるように便器と平行に取り付けます。

ⓑ 前方の床固定金具の固定位置は、床端部から5cm以上後方に設置します。

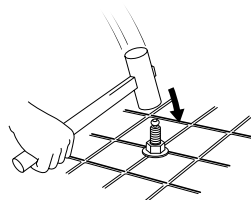
ⓒ サニタリエースの蓋と便座を開けたとき、連結フレームの後方に接触しない位置に設置します。

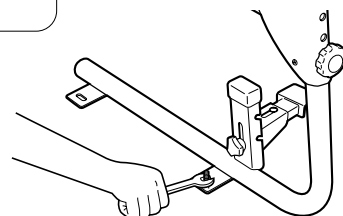
ⓓ 水洗用の配管やタンクなどと干渉しない位置に取り付けます。

※ サニタリエースODで、補高スペーサーを取り付ける場合は、補高スペーサーを取り外した状態で、サニタリエース本体を固定した後、補高スペーサーを取り付けてください。

5 床に穴を開ける

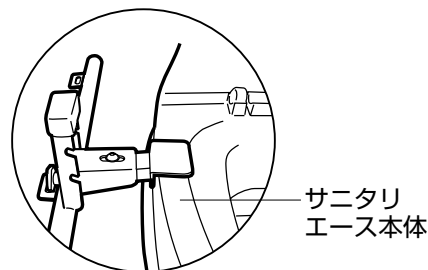
コンクリート用ドリルでφ6.5mm、深さ35mmの穴をあけます。
※床がタイルの場合、タイルが破損する恐れがあるので、必ずタイルの目地の部分に穴を開けるようにしてください。

6 アンカーボルトの設置

床の穴にアンカーボルトの埋設部分（端面が4つに割れている）を差込み、アンカーボルトの頂点に突出しているピンをハンマーで叩き込み、アンカーボルトを固定します。

注意 下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからアンカーボルトを固定すること

7 ナットで固定する

固定金具が床面に接触するように固定し、ナットを締め付けて固定します。
床固定金具は必ず4箇所全てを固定してください。

組み立てかた

8 サニタリエースを固定する

サニタリ固定アームのボルトをレンチでゆるめ、サニタリエース本体に当てがい、幅を調節してサニタリエース本体の横方向のズレと上下の動きを固定できる位置に調節します。

（サニタリエース取付寸法目安）

サニタリエースOD 両用式ノーマル	サニタリエースOD 両用式補高#5/#8	サニタリエースHG 両用式
33~36cm 9cm 下段を使用	33~36cm 9cm 下段を使用	32~37cm 13cm 上段を使用
・固定部高さ：９（cm）下段使用	・固定部高さ：９（cm）下段使用	・固定部高さ：１３（cm）上段使用
・便座からの肘掛け高さ 25・28・31・34（cm）	・便座からの肘掛け高さ #5：20・23．26．29（cm） #8：17・20・23・26（cm）	・便座からの肘掛け高さ 21・24・27・30（cm）

使いかた

1 肘掛け高さは4段階調節

使用者の身体に合わせて肘掛け高さを調節してご使用ください。高さ調節ボルトのノブをゆるめ、肘掛け高さを調節し、適当な高さの穴に合わせてしっかり締め付けます。使用しない穴には目かくしシールを貼ってください。

2 サニタリエースを掃除する場合

サニタリ固定ノブをゆるめて、サニタリ固定アームを取り外すと、サニタリエース本体を外して掃除することができます。

肘掛け、連動部、アジャスターなどに緩みやガタツキが無いことを確認すること
各部に緩みやガタツキがあると、破損や転倒、けがの原因になります。

お手入れの方法

普段のお手入れは

いつでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）を含ませて拭きとったあと、乾拭きしてください。

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジは使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
表面の塗装がはげたり、金属が腐食したり、プラスチックが劣化することがあります。
「固定部分と床固定金具」の材質はステンレスですが、塩素系洗剤を使用すると腐食します。